

ペトリの友 13号



〔昨年のおなたです〕



〔43年ペトリ会春季大運動会〕

ペトリカメラ株式会社

新入社の皆様へ

ペトリ会会長

新入社おめでとうございます。

学生生活を修了しいよいよ、あなたも社会人として世の中に出て立派に社会の人達の中に融け込んで行く時が参りました。従って、今迄想像もしなかった色々な事柄が目の前に次々と起って来る訳で、あなたは、此れを一つ一つ経験し、それを自分のものとして行かなければなりません。あなたにしてみれば大変なことで、此れを自分のものとして身に付けるためには力強い努力と、忍耐が必要なのです。振り返って見れば、お父さんや、お母さんがあなたを、今日迄育て、来られた陰には、とても想像もつかない苦しく、激しい努力があったことを忘れてはなりません。

今日からは、あなたの所属する職場こそが、社会人として成長する「場」としてクローズアップされることになるのですから、多少の不安もあると思いますが大いにファイトを燃やしてもらいたいと思います。

これは何事に於ても云えることですが、最初の第一歩が肝心で、これを上手に乗切ると、脇道にそれて仕舞うことなく目的地にたどり着くにも、人より早く到着出来る訳です。

従って、始めは自分の心にも云い聞かせて社会人となるための覚悟をガッチリと持ってもらい度いと思います。

然し、近代企業が増々発展している今日では、昔のように基礎固めに長い期間を費すことは出来ないのです。己人の努力に依って出来る丈早い期間に一人前の完成された社会人にならなくてはなりません。さもないと、目ま苦しいこの世の中から置き去りにされてしまうこととなります。

そこで、あなたは人一倍の努力が必要になって来た訳です。それには、只ガムシャラに新しい事柄に取り組んで見ても効果の薄いものになって、あなたの一生の成功はおぼつかないことになって仕舞います。

社会人として立派に完成し、そして成功するためには、「人と人とのつながり」を充分に知って、人に親しまれ、人に好かれる人間にならなければなりません。

仕事に精を出し、人よりも早く物事を覚えることは

勿論のことですが、これと平行して、或は其れ以上重要なものが、職場の人達と「良い人間関係」を作り出し、良い友人や、先輩を沢山もつことなのです。

毎日顔を合せている同僚から嫌われて、遊び仲間にも入れてもらえない、旅行やハイキングにも誘ってこない、職場の仕事も手伝ってもらえないとしたら、あなたはどうします？一日も早く立派な社会人に成る処か、どんなに淋しいつらいことか、この世の中が厭になって仕舞うことでしょうか。

社会生活をする上には、常に付き纏うものとして、自分に気に入らないこと、反撥したいこと、わめきたいこと、悲しいこと、泣きたいこと等がいく度となく現われて来るものですが、上役・先輩・後輩・同僚等の人たちとの間に「良い人間関係」が結ばれているとこれ等の人達の偉大なる力により、なぐさめ或は、はげましを受けて、気持の迷いからさめ、自分を取り戻すことが出来、幸福感が胸いっぱい広がって来るものです。

このように、社会人として、職場で働く私達の目標の「成功と、幸福をつかむ道」は日頃から正しい礼儀を身に付けて、人に親しまれ、信頼され、好かれるための勇気と、努力によって「良い人間関係」を作ることにある、と云っても過言ではないでしょう。

「良い人間関係」と云うことは一口に云い現わすと“人に迷惑を掛けないように、常に相手の立場になって物事を考えるよう心掛ける。”と云うことです。そしてこれの第一歩は、私達が毎日交す挨拶から始まるのです。気持の良い挨拶が出来る人は、とても感じが良く、すなおな印象を人に与えるし、人に好かれる最大のポイントと云っても良いでしょう。

ペトリ会は社員全体の親睦会で、年間を通じて数多くの行事を盛大に且つ、華かに行って居りまして、良い人間関係が養われる「場」であることを願って、私達役員及び、幹事は一生懸命に働いて居ります。

新入社の皆様も、ペトリ会の行事に挙って参加して下さい。以上

第8回

春季大運動会

- と き 44年5月18日(日) 午前9.30～
- と ころ ペトリカメラ 杉戸グランド



43年優勝チーム

ペトリ会、恒例の春季大運動会は1500余名の参加を得て開催致します。又当日の企画は下記の通りとなりますので、多数の会員、家族の皆さんの参加をお願い致します。

記

1. アベック二人三脚
2. 音カン競走
3. アップダウン風船割
4. キスオブファイヤー
5. 今日は赤ちゃん
6. 600mリレー
7. 障害物リレー
8. 宝さがし
9. 綱 引
10. スエーデンリレー
11. 美人コンテスト
12. 棒 倒 し
13. 借物競走
14. 1500mリレー
15. 一身一体
16. 男子操縦法
17. 騎馬戦
18. 1200mリレー



— パートタイマー —

ペトリ会行事に参加して

(Uパート)

ペトリ会行事に参加させて頂き私なりに感じました事を綴らせて頂きます。

女性が家庭に納まれば不測の事故のない限り一生を家事仕事をプロとして無事安穩に過して仕舞って居た時代は終りの様です。つまり妻が家事行事に埋没して居るのを見てかび臭いと云った言葉を聞かされた事がありますが主婦の役割は変って来て家庭の中で新しい息吹を与え精神的な活気を創造して行く事が主になった様に思います。それにはすべての事に興味を持ち情熱的に自分自身が生きると云う積極的な意欲が湧き出ているからだと思えます。大衆社会に向って働き、学び、そしてより良い明日を求めて努力し成長して行く事が現在の私達主婦に要求されている様に思えます。こうしためまぐるしい毎日の中に最も大切な事が心の慰安だと思えます。家族ぐるみの観劇会又は童心に返っての大運

動会も忘れる事は出来ません。精一杯働いている者同志が心の底から声を出して笑い合い感動出来た行事に多くのパートさんが参加することが出来、仕事を離れての和を持つ事に依ってより以上の人間関係を強いものに出来ることを幾度かの行事に参加させて頂き痛感致しました。ペトリ会行事が家族対家族の交際場として、又ペトリカメラに働く者同志の共通の憩いの場としてより多くのパートさんをお誘いしたい気持ち一杯です。私は夫、子供を含めた家庭団らんの一時ペトリ会に参加したいろいろな出来事をよく話題に致します。その時、笑いとお話が一杯に流れさわやかな幸福が訪ずれて来ます。この生活の中に潤いを得た喜びを私は本当に感謝致して居ります。最後に大勢のパートさんが気楽に参加出来る様な行事を多く催して頂き度いと思えます。

■ 職 場 と 生 花



本年四月より、ペトリ会生花部、安全衛生委員会は、新入社員の歓迎を兼ねて、各職場に美しい生花を添える事となりました。

先輩の皆さん、清く、正しく、美しく、私達のペトリカメラに慣れる様、御指導される事を新社員は期待致して居ります。

若い広場

私の願い

宮城県工業高校出身

一人の社会人として又、寮生として私は1ヶ年前にこのペトリカメラ男子寮に入った。すべて自分の事は自分でやっていかななくてはならないと云う、学生生活とは違う新しい団体生活に馴れなくてはならない。最初は不安と動揺でなかなか落ち着かなかった。そして1ヶ年後の私は寮生活のきびしさ、苦しさ、楽しさなどを自ら体験して、やっと寮生活に慣れてペトリカメラの社員としてのペースをつかみ、これからは寮監や先輩達の種々なアドバイスを受け、時には叱られたりして社会人としての態度を再認識し一本立ち出来る様に寮生活を通じ多くを学び成長していきたいと思っています。

1ヶ年が過ぎて

「むずかしい」入社して私が一番先に実感した言葉である。組立という作業があまりにも私の想像とかけ離れていたからである。

ドライバー、ピンセット、ヤットコ、ハンマー、ゲージ等……、どれも初めて使うものばかりであった。「ビスがもう少ししまりますね」「すみません」（ずいぶんきつくしめたつもりなのに……）今度は両手でしめる—ビスが折れる—だんだん心細くなる。私はすこしの矛盾と、仕事に対する自信のなさを感じた。私にとっては全て「むずかしい」と感じる仕事の連続であった。しかし、そんな中にも私はペトリに愛着を感じている。あれから1ヶ年、私は4度仕事がかわった。今では以前ほど、仕事にむずかしさを感じない。仕事の慣れによって解決されつつあるのだと思う。私は早く自分の仕事に自信と誇りをもてるようになりたい。

体験

閑かな北海道から都会の雑踏を見て、ペトリカメラに入社し早1ヶ年。学生生活から社会生活へと大きな変化の中で、何か学業とは異った社会勉強、会社での仕事というものに、不安ともの足りなさを大いに感じました。

日々の経過とともに、会社の内容も多少知り入社前の期待以上のものもあれば、落胆させられることもありましたがそれより先に、人間関係をスムーズにし、自ら良

くするように勤めなければならないことをこの1ヶ年間に強く感じました。自分の力を常に発揮できる仕事を期待していたのですが、少し期待はずれですが、ペトリカメラへの期待と、やる気ある意欲は入社時と変わらず、1ヶ年間会社に慣れるための勤めに対して、今後の体験に大きく期待する自分です。自分の道は自分で開け！ これも体験の一つでした。

東京

勉強して来たつもりだけど、イザ東京のド真中で、自分を試そうと思ったら全然だめ、右を見ても左を見ても建物、建物……自信喪失、このことばがびったり。足があるのに、行きたい所へ行けない悲しさ、駅も名前が一つであっても田舎の様にはいかない。いくつも街の中に顔を出している。ホームもひっきりなしに入ってくる電車、回りは知らない人ばかり、東京を知るには、自分の足で歩いてみる外にないと思い、さっそく地図帳を買い込み、毎晩地理の勉強、歩いた所は、一部始終赤エンピツで書き込む為、一冊目の地図帳は赤丸と手垢でボロボロ、今にしてみれば、これも一つの思い出の品、友達と街を歩いても話ほうわの空、とにかく目につく、看板、ネオン、ビル等手当たり次第に記憶しました。

今？ 看板よりも話に夢中！ 目下、いかに上手に乗りこなせるか研究中！

1ヶ月過ぎて

この会社に入って1ヶ年、私もやっと仕事にも慣れ張切っている所です。でも初めは仕事がむずかしく神経が疲れて大変でした。社会に出ると本当に学校とは違うと思う。学校では決った時期に試験というものがあった。でも今は毎日が試験のようなものだ。仕事が良ければ良いにつけ、悪ければ悪いで自分の所に返って来る。でもそれで自分の仕事に対し励みにもなり努力する。それに人間関係がむずかしいと思う。学生時代は同年生であった交際が今はいろいろな年代層の人が多くいる。学生時代にはなかった人間関係の複雑さがあると思う。でもそれも自分で努力して頑張っていかなければいけないと思う。それに良き友を作る事が大事であると思う。何事も気楽に話せる友、親友を見つける事である。お金とか外見にとらわれず、真剣に良き職場を見つけることが大事です。私は良い職場に恵まれたことを喜んで居ります。

時代の流れと共に

埼玉製作所光学課

歳月の流れるのは早いもので、私が入社して今年の6月でまる10年を迎えようとしている。10年一昔と良く云うが、この10年間の歳月を振り返って見ると多種多様な思い出や幻想にかられることが多い。

人間一生のうち、色々な事件を生じ、其れに対抗して行かねばならない訳だが、私も人の子幼い頃もあったし、腕白時代もあった。

(小学校時代に残る印象) 今でも忘れることの出来ない思い出が2つある。誰しも経験がある入学式と、卒業式である。入学式の時、母に引かれ乍ら学校の門をくぐった。最初の頃は学校に行っても友達が作れずいつも一人ぼっちだった。だから学校に行くのが嫌な時があった。そんな時、いつも母と一緒に学校迄附いて来てくれたものだ。此んな事を思い出すと何だか涙が出て来てしまう。

私は幼い頃から友達が比較的少ない方だったが、決して陰気ではなかった。それから私にとってもう一つ大きな傷害事件が発生した。それは眼を悪くしたことだった。入学当初正常だった両眼が3年の終り頃から徐々に悪化し、4年から眼鏡使用となった。此の時も母が気を配り色々な医師に依頼して綿密な検眼をしてもらった。其の時の医師の話だと「小さいわりに悪化しているが失明する様なことはないから心配はない」とのことだった。原因は暗い所で本の読みすぎだったらしい。私は小さい頃から本を読むのが好きだった。薄暗い電燈の下で読書を止めなかったことが眼を悪くした原因だったかも知れない。私は其の時こう思った。“世の中には眼の不自由な人達が多勢いる、両眼失明でさえ立派に生き抜いている人が此の世の中に沢山いるのだ。そう云う人から比べたら私はどんなに倖せ者か、”とつくづく感じさせられた。

(中学校時代) 中学に入学したのが昭和30年の春だった。中学は課目ごとに担当する先生が違う。よく遅刻して担当の先生に大目玉を食ったことがある。

両手に満載した水入りのバケツを持たされて廊下で立たされたこともあった。其の頃から私の性格が大分変わって行ったのは事実だった。

当時、音楽を担当してくれた女の先生がいつも私が立たされている姿を見ては「〇〇さん、又立たされているの！駄目じゃないの！！担当の先生には私から良く謝っておくから早く家に帰りなさい」と云って帰してくれた。ある放課後、音楽の先生に職員室に呼ばれ遅刻する原因を聞かれた。家が煎餅屋を営んでいた関係から手伝いをしなければならないので、どうしても時間迄に教室に入れないことを話した。学校迄歩いて5分位だったが、それでも自転車に乗り、遅れまいと努力した程だった。

その様なことが幾度かあって、私は自然に其の音楽の先生にいつの間にか好意をもってしまった。私の初恋であったのです。

夢に迄見続けたその先生は、私が卒業と同時に転勤になり、私が高校1年の時に浦和の方に稼いで行ってしまった。今では立派な家庭の主婦になっているが、毎年、年賀状だけはかかさずもらっている。今年の年賀状には「もう結婚なさいましたか？」と云う文面が記されてあったが、私も先生に負けない立派な奥さんしてもらい倖せな家庭を築き上げたいと、思っている。

(高校時代) 私が高校に入学したのは34年の4月であった。中学からすぐに入れば33年になるのだが、勉強の方は余り好きでなかったもので、高校入学は自分からことわり、1年間家業の手伝いをして過した。その頃は未だ年令的にも若かったし、将来のことなど深刻に考えてはいなかった。この頃母や、亡き祖母からこんなことをよく云われた。「男はいつの世の中でも学問が必要なだから、勉強がいやだからと云って遊んでいないで夜間でも良いから高校に行きなさい」この言葉が今になって本当に胸が痛くなる程、思い出されてならない。

こうして、34年の正月から入学の試験勉強を徹夜で過した日も何度かあり、其の甲斐があってその年の4月に夜間高校へ無事入学出来た。一番喜んでくれたのが、母と祖母であった。2人の期待に添うべく、嫌だった勉強も一生懸命に頑張った。しかし、夜学生と云うコンプレックスを感じ乍らも通い続けた此の歳月を今思い出すと悲喜こもごも青春時代の1ページとも云えよう。

今迄色々な苦しさ、つらさ、悲しさそして、楽しさの体験を経て来たことが不思議に思えることさえある。中学時代は高校が其れ程重要とも思っていなかったし、行こうとも考えなかった高校だが、入学して最初の数ヶ月間は其れでも高校生に仲間入り出来た喜びで夢中で過した。しかしその一時期が過ぎ学校に馴れて来ると、その後に来る空虚さ、期待を裏切られたむなしさ、定時制と云うものの不自由さ此れ等のものに自分迄が惨めになったような思いに沈んで、学校が嫌になったことも再々あった。そして世の中の重力から逃れようとして、何もかも忘れるために暗い夜道をあてもなく歩き続けたこともあった。

卒業後間もない頃、私は現在の自分と過去の自分を比較して再び入学当時の自分に返り咲きたい衝動に切なく駆られたものだった。

私は、こうして過ぎ去った4年間の定時制生活に終止符を打った訳である。

〇〇さんの話はまだまだ続き、愈々ペトリカメラに入社し、社会人の仲間入りをして今迄経験しなかった色々な責任に打勝ち、多くの人々の人情の偉大な力に感激しつつ現在の職場に立派な職制として生き抜いている、貴重な人生観を物語ってくれましたが、紙面の都合で次回ペトリの友に連載致します。(編集者)

スクリーン

太陽が知っている



■ 物語

地中海の太陽がまばゆいサン・トロペの豪華な別荘でジャン・ポールとマリアンヌは快適な休暇を過していた。しかし、マリアンヌが招待したハリーとその娘のペロネーブが別荘にやってきて、雰囲気は一変した。何の変化もないように見えながら、その実4人の心の底には微妙な感情が揺れ動いていた。

ハリーとマリアンヌはかつて恋人同志であった。ハリーはジャン・ポールを前にして、別れはしたが、今でも彼女を自分のものにする自信があると云いきった。

ペネロープは、ジャン・ポールが自分に好意以上の感情を持っていることを知り、又それを見つめているマリアンヌの不安を知り乍ら平静を装っていた。一方マリアンヌはジャン・ポールとペネロープの間が心配でたまらなかった。彼女は、ジャン・ポールを嫉妬させるために、わざとハリーと戯れた。

これが事件の発端となった。ハリーとマリアンヌが抱き合っているのをジャン・ポールとペネロープが見てしまったのだ。彼女は父への反感からジャン・ポールの恋人となり、ハリーとジャン・ポールの仲は険悪になった。酒を呑んだあげく喧嘩が始まった。

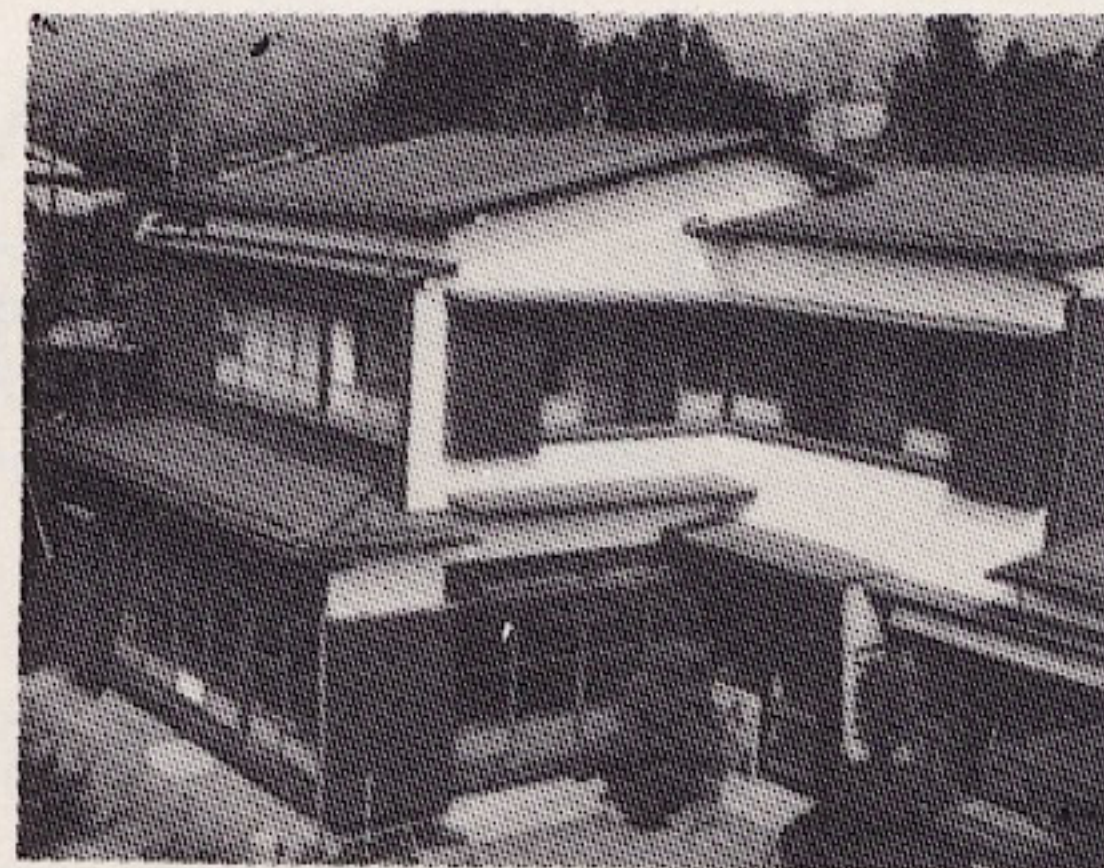
酔っていたハリーは、プールに突き落された。プールの中にいるハリーを見たジャン・ポールは突然、激しい憤りを感じると、プールから上ろうとするハリーの顔を水の中へと押しつけた……………。

●松竹セントラルにて上映
ペトリ会会員 320円

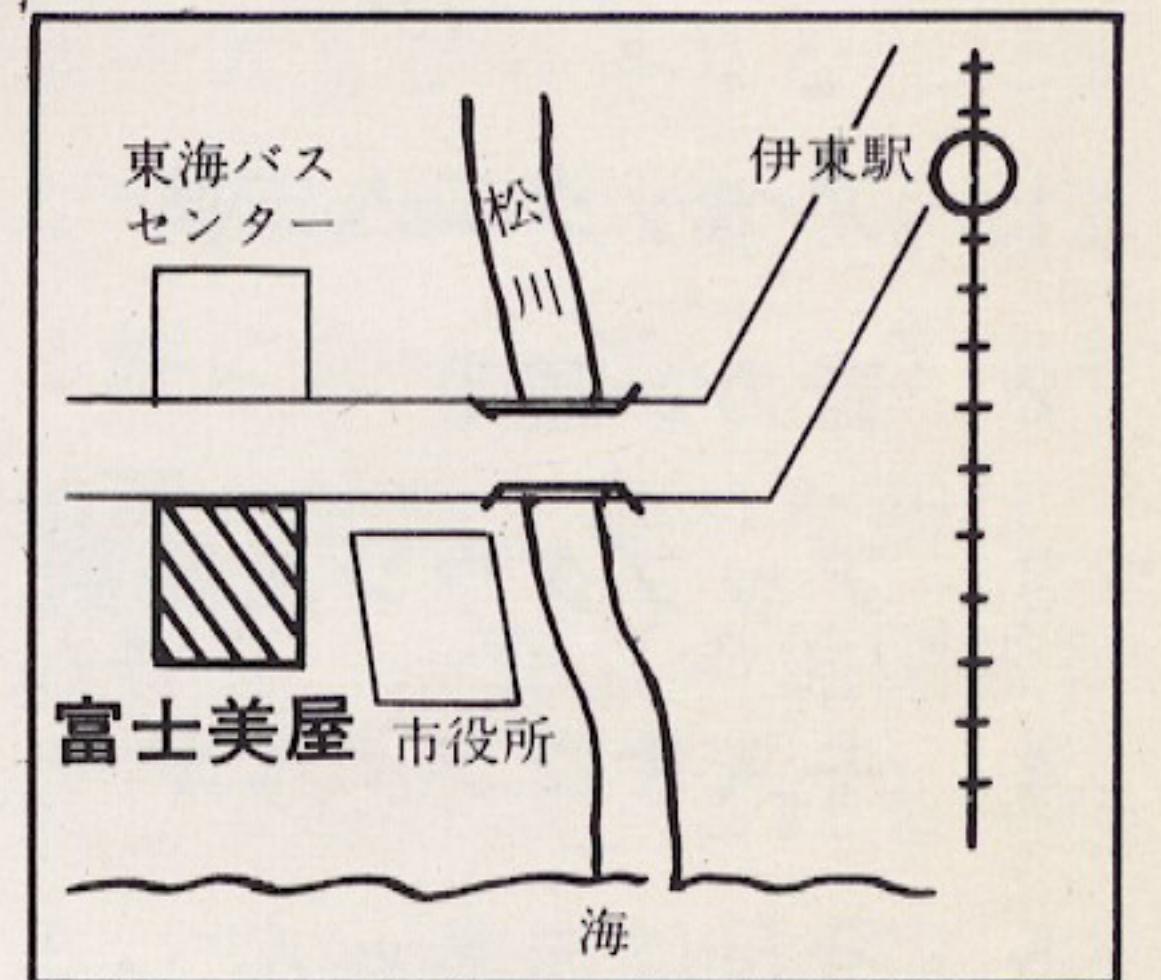
(旅)



皆さん、行楽シーズンを迎え、それぞれ御計画もあると存じますが、ペトリ会は多くの利用者を集める、ペトリ河口湖寮と並んで伊東市に協定旅館を設定致しましたので御知らせします。



富士美屋



案内図

伊東市松原29-2 富士美屋 0557 ③7 4181
1泊2食付 2,000円(税・サービス料共)
(但し(土)は 2,500円)

○温泉プール付

▶河口湖寮の御利用について

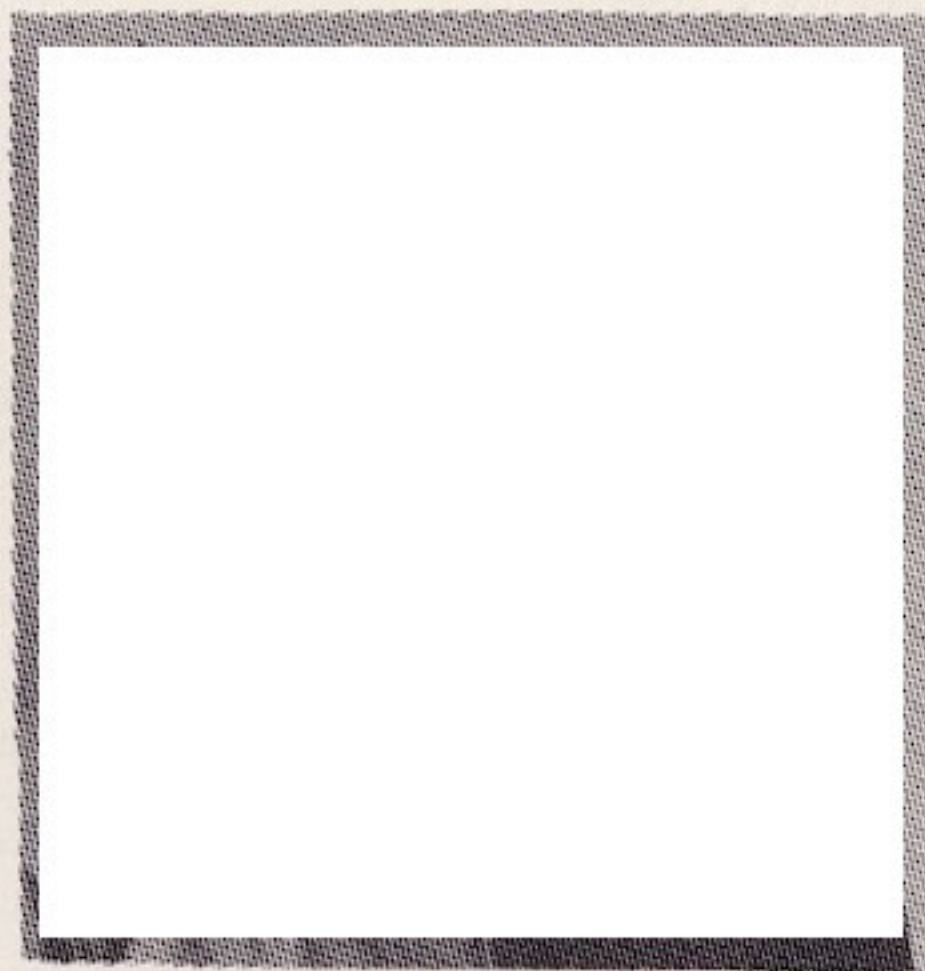
開設来 570円の利用代を6月1日より 650円と変わりますのでお知らせ致します。又5月より利用者も多くなるので、早めに御申込み下さい。

※ ペトリ会はサービスコーナーとして上記の施設・映画を割引利用する事が出来ますので御申込はペトリ会幹事へお願いします。

私の思い出



(秋祭り)



(昭19年 日大在学中)

ペトリ会会長

◆編集後記◆

今回は、新入社員の皆さんに参考になるように、先輩達の体験を多く取り上げる事と致しました。
又、「私の思い出」をもうけ今回は、会長に御登場願いました。次回は皆さんの美しい思い出を御待ちして居ります。これらの体験を御参考に願えれば幸に存じます。